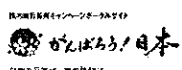




信州四季旅キャンペーン公式サイトへ>>



あたらしい旅をしよう。
～私たちは日本人スポーツツーリズム推進機構



Japan. Thank You.

平成24年8月21日(火)
長野県 観光部 移住・交流課



1

2012 観光部に新設した2つのミッション

観光企画課

- 長野県のブランド戦略の構築
- 首都圏での情報発信の強化策の検討
- ブランド戦略に合わせた県産品振興のあり方の検討

観光振興課

国際観光推進室

- 移住・交流の推進
- 国際青少年交流農村づくり
- MICEの誘致
- フィルムコミッションの推進
- メールマガジン「楽園信州」
- 「楽園信州」協議会
- 訪日教育旅行の受入
- スポーツ合宿の誘致
- 大河ドラマ誘致
- 信州魅力発信ブログ

国際課



2

信州発 新たな「移住・交流施策」へ

社会情勢の変化、地域ポテンシャルを生かした政策展開へ



社会情勢に関する課題

人口減少と少子化への対応	2010年:215万人⇒2030年(推計):184万人への対応
増える移住・交流ニーズへの対応	三大都市圏に多く在住する移住希望者のニーズに応える
ふるさと志向の高まり	ふるさと志向の高まりや震災後のライフスタイルの変化に対応
シニア層のセカンドライフ充実志向	ゆとりある生活の場や活躍の場を求めるシニア層を呼び込む

長野県の強み

- 三大都市圏から比較的近距離かつ、豊かな自然環境に恵まれた良好な生活環境
- 移住先としての期待される信州・長野県のブランドやイメージ
- 広大な県土にあって、77の市町村が、独自の施策によって「ふるさとづくり」を進めており、移住・交流の受け入れ環境が整備されてきた。



部局横断、分野を超えたサポート体制へ

- 県や市町村、民間団体の役割分担や活動領域を踏まえた相互連携体制の構築
- 庁内の部局横断による戦略的支援
- 大都市圏に移住相談や情報発信の拠点整備し、希望者のニーズに迅速に対応



3

信州

長野県移住・交流推進戦略

(2012年(平成24年)策定)

策定の経緯と目的の経緯

平成24年3月16日策定

○経済・社会情勢の変化に的確に対応し、長野県の強みとポテンシャルを最大限に活用して、移住や二地域居住、交流人口を増やしていくための長野県の行動計画・指針

○本戦略に基づき、社会減の基調を社会増に転換することを目指していく。



関連指標

9つの戦略

1	移住先として選ばれ続ける信州ブランド戦略
2	ターゲットに応じた情報発信戦略
3	三大都市圏ワンストップ拠点戦略
4	「移住者の環」形成による親身なサポート戦略
5	移住者への良好な暮らし提供戦略
6	I・Uターン、農林業就業サポート戦略
7	医療・福祉分野への就業応援戦略
8	信州ならではの教育による交流推進戦略
9	自治体間協定を含めた交流拡大戦略



関連指標の項目		22年度実績	29年度目標
移住者	①移住者・Iターン就職者数	396人(240件)	1,000人
	②Uターン就職者数	4,000人	5,000人
	③住宅賃貸・販売実績による移住者数	不動産関係団体と連携して移住者の動向把握を検討	
交流人口	④都市農村交流人口	546,544人	24年度に検討
	⑤森林の里親促進事業契約企業数	72社	200社(平成32年度)
	⑥学習旅行来県学校数	532校(小学校)	24年度に検討
	⑦訪日教育旅行受入団体数	40校	

4

長野県では、東京交通会館内に「長野県移住・交流センター」を開設しました。
信州・長野県への移住やIターンをお考えの皆さまの「職」と「住」のご相談に、2名の専門スタッフがワンストップで対応してまいります。
多くのみなさまのご利用をお待ちしております。

◆ 相談内容

- ▶ 長野県内での「職業」や「住居」に関するご相談
- ▶ ご希望のライフスタイルに応じた移住候補地等の情報提供
- ▶ Iターン登録者への求人情報提供、就業希望先とのマッチング支援

◆ 相談時間

月曜日～土曜日 10時～18時
(日曜日、祝日は休業します。)

相談に来訪される場合は事前に予約をお願いします。

◆ スタッフ



移住専門相談員 京田 伸吾



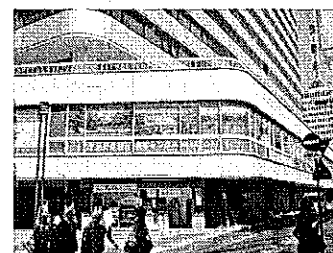
Iターン相談員 土方 裕久

◆ 所在地

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館2階
長野県東京観光情報センター内

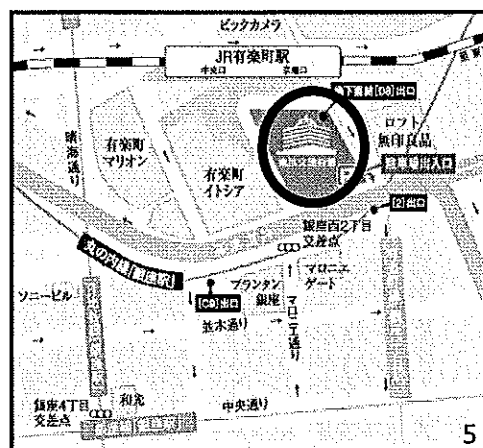
◆ 連絡先

電話番号 03-3214-5655 (直通)
FAX 03-3214-5650
E-mail tokyo-jiucenter@pref.nagano.lg.jp



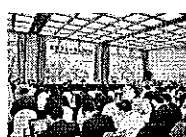
【アクセス】

JR山手線、京浜東北線「有楽町駅」京橋口 徒歩1分
東京メトロ有楽町線「有楽町駅」D8出口 徒歩1分
東京メトロ丸の内線「銀座駅」C9出口 徒歩3分



ニューツーリズム 新たな観光の可能性

グリーン・ツーリズム	農山村で自然、文化、交流(農業体験、食育など)を楽しむ滞在型の余暇活動
スポーツツーリズム	プロスポーツ観戦、マラソン、トレッキング等のスポーツイベント、スポーツ合宿+観光
MICE	①企業等の会議(Meeting) ②企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel) ③国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention) ④展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)
産業観光	歴史的、文化的価値のある遺構、先端技術を備えた企業、食品・飲料製造場、伝統工芸など
ヘルスツーリズム	自然、温泉、健康によい料理、運動指導など心身の癒し、健康の保持・増進につながるツーリズム
文化観光	歴史、伝統といった文化的要素に対する知的欲求を満たすツーリズム
映画・ドラマのロケ地めぐりツアー	映画やアニメ、ドラマのロケ地を訪ねるツアー



『国際青少年交流農村宣言』

国際青少年交流農村宣言 ～人はふれあって成長する～

四季折々に豊かな表情を見せる長野県の農村は、日本の宝です。私たち長野県は、世界中から積極的に「農村体験」として若者を受け入れます。言語や文化の違いを超えて、ありのままの農村生活を共に過ごす中で交流・研鑽し、ふれあいの大切さ・食の大切さ・自然の大切さを理解し合います。そして、農村の豊かな自然や美しい景観をみんなで守りながら、国内はもとより、あらゆる国や地域の若者の交流の場となる「世界一の青少年交流農村づくり」をめざして、ここに宣言します。

- 世界中の青少年がさまざまな世代と交流を深める「ふれあい」の場を文脈します。
- 農村・観光事業者・行政が一体となって、国内外からの教育旅行の受入や海外の学校との交流を推進します。
- 農村のもたらす癒しの効果を推進するとともに、農村の癒し体験を取り入れたニューツーリズムを促進し、農村の魅力を世界に発信します。
- 農林保全の重要性を深めるとともに、豊かな自然と景観、伝統的食文化を守り、若い世代にも共感できる美しい農村づくりを進めます。
- 長野県が「日本一の村らしさ」を創出し、農村生活を次世代にも伝えます。
- 国際青少年交流農村宣言を踏まえ、行動を続け、世界一の農村と発展を遂げます。



平成23年(2011年)10月8日
長野県知事 阿部子一
賛同者一同



生きる力を育む本物の体験・交流を提供します



生活体験
ありのままの農村の風景を直接体験します。



自然体験
田舎の自然に親しみ、自然の大切さを学びます。



農業体験
農作業を体験し、農村の人びとと交流します。



学校交流
親戚の学校と交流し、友情を育みます。

県内各農産物産地からメッセージが寄せられました

『国際青少年交流農村宣言』

あらゆる国や地域の若者の交流の場となる世界一の青少年交流農村づくり
長野県民によるこの画期的な取組を心より応援しています！

信濃市教育委員会より

この宣言をきっかけに、市内の各農産物産地と連携し、心も体も育む体験を提供します。また、各農産物産地と連携し、心も体も育む体験を提供します。また、各農産物産地と連携し、心も体も育む体験を提供します。

長野県は、日本一の農村づくりをめざして、国内外からの若者を積極的に受け入れています。また、各農産物産地と連携し、心も体も育む体験を提供します。また、各農産物産地と連携し、心も体も育む体験を提供します。

ニューツーリズムの推進により、農村の魅力を世界に発信します。また、各農産物産地と連携し、心も体も育む体験を提供します。また、各農産物産地と連携し、心も体も育む体験を提供します。

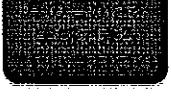
各農産物産地と連携し、心も体も育む体験を提供します。

信濃市教育委員会より



『国際青少年交流農村宣言』アクションプラン

- 「国際青少年交流農村宣言」を具体化するため、県、市町村、事業者、県民などによる一体的な施策の推進を目指す。
- 長野県の農村の持続的発展に向けた、県民一人ひとりの取り組みを提案。

施策展開・目指す姿	長野県の取組	達成目標
1  教育旅行 受入数 日本一	● 訪日教育旅行誘致のためのプロモーション ● 国内学習旅行誘致の説明・商談会、現地視察 ● 学習旅行向け体験メニューの開発支援 ● 学習旅行受入事業者、県民への支援	□ 訪日教育旅行受入団体数 40団体(H23)⇒110団体(H24) □ 国内学習旅行受入小学校数 532校(H22)⇒724校(H24)
2  農村ニュー ツーリズム 創出日本一	● 農村癒しに着目したニューツーリズム創出のためのシンポジウムの開催、旅行商品の開発 ● グリーン・ツーリズムの推進 ● 森林セラピー基地整備による多様な連携促進	□ 都市農村交流人口 546,544人(H22)⇒55万人(H24) □ 農村交流に係る旅行商品販売数 1商品(H23)⇒15商品(H26)
3  最も美しい 村の数 日本一	● 農村景観保全・育成のための分析・調査 ● 農村の多面的機能の維持と環境保全の推進 ● 森林づくり県民税を活用した里山整備 ● 「日本で最も美しい村」連合との連携	□ 「日本で最も美しい村」連合加盟数 7市町村(H23)⇒増加 □ 国内学習旅行受入小学校数 532校(H22)⇒724校(H24)
4  健康長寿 日本一	● 健康な食生活を確保するための食育の推進 ● 体験的食育の推進 ● 「おいしい信州ふーど(風土)宣言」の推進	
5  積極的な 相互交流	● 「国際青少年交流農村宣言」の普及 ● 移住・交流推進事業の展開	

推進体制

- 「国際青少年交流農村宣言」推進会議(仮称)の設置
- 地域住民が主体的に取り組む「課題解決型ワークショップ」の設置促進



長野県の高い実績とポテンシャル

豊富なスポーツ資源

高地 → 心肺機能の強化

スポーツに温泉

- スポーツ合宿に関する情報発信力を高め、合宿候補地として選ばれるようにする。
- 合宿は毎年同じ場所で行うことが多い → 新規獲得を増やす
他に取られない(質、もてなしの維持・向上)

●H24～ スポーツ合宿・MICE誘致推進員の配置

おいかわ しんいち

長野県東京観光情報センター(東京交通会館 2F) 及川 伸一さん

【電話: 03-3214-5651 E-mail: sports-mice@pref.nagano.lg.jp】



- 「スポーツ合宿誘致連絡会議」、宿泊施設情報及びスポーツ施設情報の収集、企業・旅行会社への営業活動、定住ツールの作成、関係自治体と合宿希望団体との連絡調整 など

H24. 4. 27 第1回スポーツ合宿誘致連絡会議で出された課題

- 合宿利用と住民利用の調整
- スポーツ施設と宿泊施設のアンバランス(広域的連携の必要性)
- スポーツ施設の窓口がバラバラ(ワンストップの必要性)



9



MICE誘致の意義

MICE (Meeting, Incentive Travel, Convention, Event / Exhibition)

「MICE」とは...

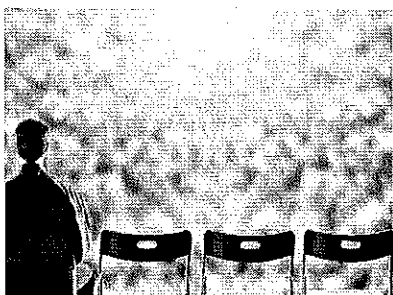
- ①企業等の会議(Meeting)
 - ②企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)
 - ③国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)
 - ④展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字のこと。
- 多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称として使われる。

- ◆人口減少が進む中、国際交流人口を増やすことが重要。

- ◆MICE関連のツアーは、一般旅行より経済効果が高いとも言われている。

【期待される効果】

- ① 訪日外国人の増大
- ② 経済効果
- ③ 地域の国際化・活性化
- ④ 国際的知名度の向上 等



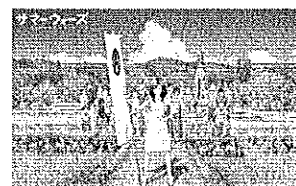


「SFN」では、信州の素晴らしさを伝えるため、フィルムコミッションネットワークによる県内ロケ資源のPRとロケ誘致を積極的に推進します。

◆信州フィルムコミッションネットワーク
会員 42団体(H24.7.1現在)

【ロケ地効果】

- ①撮影隊の滞在に伴う直接的経済効果
- ②街の賑わい創出やイメージアップ
- ③観光客の増加等による経済効果



信州ファンの皆様に
信州10圏域が総力をあげて提供する、地域厳選1000特典
おすすめ観光スポット

楽園信州「地域百選」×10

「楽園信州ファンクラブ」とは

長野県を愛する多くの方々に来訪いただくとともに、観光地や特産品等の魅力を発信していただくための登録会員制度です。

2012.11募集開始、2013.4スタート

(年会費1,000円、会員特典付)

楽園信州「地域百選」とは

楽園信州ファンクラブの会員向けに各圏域が紹介する特典付きの観光スポットや特産品です。
長野県内各地方事務所管内につき100特典以上をエントリーし会員にご提供いたします。

期待されるファンの行動

- 特典を付与された美術館、温泉施設、物産館等を訪問
- 家族、友人、社員、ゼミ仲間等を誘っての信州旅行
- 県産品（農産物、名酒・ワインなど）の購入
- 長野県のサッカー、野球、駅伝チーム等の応援
- 会員交流サイトの開設、フェイスブック、ツイッターなどで発信

